

令和8年度 第1回石鎚山系連携事業協議会

日 時：令和8年6月25日（木）13：30～

場 所：西条市役所 本庁本館5階 大会議室

次 第

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 議案・報告

【第1部】

(1) 報告第1号

役員の改選について

(2) 議案第1号

令和7年度一般会計事業報告及び収支決算報告（監査報告）

○企画情報分科会 ○サイクリング分科会 ○環境安全対策・登山分科会

(3) 議案第2号

令和7年度特別会計事業報告及び収支決算報告（監査報告）

○デジタルプラットフォーム推進分科会

(4) 議案第3号

石鎚山系連携事業協議会規約の一部改正について（特別会計廃止関係）

(5) 議案第4号

令和8年度事業計画（案）※分科会事業

（休憩 10分程度）

【第2部】

(6) 議案第5号

「石鎚山系入山協力金導入検討会」の設立及び事業計画（案）について

(7) 議案第6号

令和8年度収支予算（案）

(8) その他

4 閉会

【配布資料】

- | | |
|-------|----------------------------------|
| 資料1 | 役員名簿 |
| 資料2 | 委員・オブザーバー名簿（令和8年6月25日時点） |
| 資料3～6 | 令和7年度事業報告及び令和8年度事業計画（案）※各分科会 |
| 資料7 | 令和7年度一般会計収支決算書・監査報告書 |
| 資料8 | 令和7年度特別会計収支決算書・監査報告書 |
| 資料9 | 石鎚山系連携事業協議会規約の一部改正について（特別会計廃止関係） |
| 資料10 | 「石鎚山系入山協力金導入検討会」の設立について |
| 資料11 | 令和8年度予算（案）（一般会計） |

石鎚山系連携事業協議会 役員名簿

(任期：令和8年4月1日～令和9年3月31日)

役員	団体名	役職	氏名	備考
会長	西条市	副市長	(不在)	令和8年5月31日付で副市長が退任されたため
副会長	いの町	副町長	濱田文晴	
監事	久万高原町	副町長	佐藤理昭	
監事	大川村	副村長	田渕史剛	令和8年4月2日より就任

○役員を選出について

石鎚山系連携事業協議会規約 第6条第1項

会長は、4市町村の副市町村長の互選により定める。

同規約 第6条第3項

副会長及び監事は、4市町村の副市町村長のうちから会長が指名する。

石鎚山系連携事業協議会 委員・オブザーバー(R8.6.25時点)

NO	区分	団体名	肩書	氏名	所属分科会	
【委員】						
1	自治体	愛媛県西条市	副市長	(不在)		
2		愛媛県上浮穴郡久万高原町	副町長	佐藤 理昭		
3		高知県吾川郡いの町	副町長	濱田 文晴		
4		高知県土佐郡大川村	副村長	田淵 史剛		
5	大学	愛媛大学社会共創学部	教授	井口 梓	企画・環境登山	
6		高知大学地域・世界つながり推進機構	地域コーディネーター/講師	大崎 優	企画・サイクリング	
7	観光協会	(一社)西条市観光物産協会	事務局長	玉井 雅人	環境登山・DPF推進	
8		(一社)久万高原町観光協会	代表理事	竹森 洋輔	サイクリング	
9		(一社)いの町観光協会	事務局長	和田 耕明	環境登山・サイクリング・DPF推進	
10	民間	西条商工会議所	地域振興係長	高橋 順子	企画	
11		(一社)仁淀ブルー観光協議会	事務局長	西岡 由紀	サイクリング	
12		(一社)大川村ふるさとむら公社	シニアインフルエンサー	近藤 京子	環境登山	
13		株式会社石鎚観光	代表取締役	白石 文高	環境登山	
14		株式会社ソラヤマいしづち	代表取締役	中野 太一	DPF推進	
15		交通関係	石鎚登山ロープウェイ株式会社	代表取締役	伊藤 和豊	環境登山
16		四国開発フェリー株式会社	営業部旅客担当 係長	月原 光太郎	サイクリング	
17	山関係	NPO法人西条自然学校	理事長	山本 貴仁	企画・環境登山	
18		NPO法人石鎚森の学校	理事・事務局長	十亀 雅史	環境登山	
19		面河溪を愛する会	会長	白石 崇	環境登山	
20		山荘しらさ	西川建設株式会社 代表取締役	西川 健二	環境登山	
21	サイクリング関係者	西条市サイクリング大会実行委員会	副実行委員長	越智 健二	サイクリング	
22		高知県サイクリング協会	理事	大崎 優	企画・サイクリング	
【オブザーバー】						
23	行政	国土交通省四国運輸局観光部観光企画課	主査	水上 隆宏	(協議会のみ)	
24		環境省中国四国地方環境事務所四国事務所国立公園課	国立公園保護管理企画官	新村 靖	環境登山	
25		林野庁四国森林管理局計画保全部保全課	課長	立居場 一徳	環境登山	
26		愛媛県県民環境部環境局自然保護課	主幹	入山 修	(協議会のみ)	
27		愛媛県東予地方局商工観光課	主幹	川口 正	(協議会のみ)	
28		高知県観光振興スポーツ部地域観光課	チーフ(地域支援第一担当)	岡林 なおみ	(協議会のみ)	
29		高知県産業振興推進部計画推進課(仁淀川地域本部)	地域支援企画員(総括)	隅田 紀子	(協議会のみ)	
30	民間	株式会社伊予銀行地域創生部	課長	石川 智弘	(協議会のみ)	
31		Happy山歩き	登山ガイド	三浦 真紀	環境登山	
【オブザーバー(分科会のみ)】						
32	民間	四国山岳ガイド協会	事務局長	佐藤 孝雄	環境登山	
33		やりたい事は今やっつけ!		竹並 広文	サイクリング	
34		クラブツーリズム株式会社			DPF推進	
35		株式会社大広			DPF推進	
36		ジョージ・アンド・シヨン株式会社			DPF推進	
37		日本オラクル株式会社			DPF推進	

令和7年度事業報告

令和8年度事業計画（案）

1 石鎚山系公式WEBサイト保守・運営

- 【事業名】
石鎚山系公式WEBサイト保守・運営委託業務
- 【事業費：494,560円】
（委託先：セキ株式会社 契約期間：令和7年4月1日～令和8年3月15日）
- 【目的】
石鎚山系のPR、誘客促進、環境保全、安全対策に係る情報を発信し、石鎚山系の認知度向上及び誘客につなげるべく、サイトの更新、保守、運営を行った。
- 【内容】
 - ・アクセス解析と対策（4半期毎）、サイトの保守運営（通年）
 - ・サイト掲載済みの古い情報の随時更新（通年）
 - ・道路情報、イベント情報などタイムリーなお知らせ記事「News&Topics」の更新（月2回程度、編集計画に基づいた記事を更新）
 - ・ボランティア団体による活動計画及び報告の投稿を掲載（通年）

※令和7年度アクセス解析結果（抜粋）は別紙資料のとおり

1 石鎚山系公式WEBサイト保守・運営

- 【事業名】
石鎚山系公式WEBサイト保守・運営委託業務
- 【予算額：500,000円】
- 【目的】
石鎚山系のPR、誘客促進、環境保全、安全対策に係る情報を発信し、石鎚山系の認知度向上及び誘客につなげるべく、サイトの更新、保守、運営を行う。
- 【内容】
 - ・アクセス解析と対策、サイトの保守運営
 - ・サイト掲載済みの古い情報の随時更新
 - ・道路情報、イベント情報などタイムリーなお知らせ記事「News&Topics」の更新（月2回程度、編集計画に基づいた記事を更新）
 - ・ボランティア団体による活動計画及び報告の投稿を掲載
- 【スケジュール】
 - ・令和8年度年間を通して実施（サイトの更新、保守、運営）
 - ・4半期毎のアクセス解析及び結果に基づくSEO対策

編集部日より
（月2件掲載予定）



2 マーケティング事業

- 【事業名】
いしづちエリアに係る愛媛県観光DPMデータ分析活用事業 ※事業中止
- 【予算額：50,000円】
- 【目的】
いしづちエリア内の主要観光施設等に対し、愛媛県観光国際課が運用している「愛媛県観光DMP（デジタルマーケティングプラットフォーム）」による来訪・人流データの取得及び誘客に関するマーケティング分析を依頼する（高知県内の施設登録も可能）。
※分析自体は、デジタルプラットフォーム推進分科会のプロモーション目的の名目で依頼する
また、当該分析結果に対するアウトプット（セミナー等）を検討・実施し、エリア内の事業者全体のマーケティング力の向上を図る。
- 【内容】
 - ・データ取得スポットの選定
 - ・いしづちエリアの観光誘客に係る分析依頼
 - ・講習等のアウトプット方法の検討・実施
 - ・対面開催の場合、会場の使用など

【実施状況】
愛媛県観光DMP委託事業者といしづちエリアの人流データの提供等の可能性について協議した。講習等の協力は可能であるものの、現状本協議会で大きなプロモーション計画等がなく、定期提供等の仕組みは困難な状況。ただし、今後の愛媛県の動向に応じて引き続き情報連係の可能性を探ることとしたい。

2 マーケティング事業

- 【事業名】
いしづちエリアに係る愛媛県観光DPMデータ分析活用事業
- 【予算額：100,000円】
- 【目的】
いしづちエリア内の主要観光施設等に対し、愛媛県観光国際課が運用している「愛媛県観光DMP（デジタルマーケティングプラットフォーム）」による来訪・人流データの取得及び誘客に関するマーケティング分析を依頼する（高知県内の施設登録も可能）。
※分析自体は、デジタルプラットフォーム推進分科会のプロモーション目的の名目で依頼する
また、当該分析結果に対するアウトプット（セミナー等）を検討・実施し、エリア内の事業者全体のマーケティング力の向上を図る。
- 【内容】
 - ・データ取得スポットの選定
 - ・いしづちエリアの観光誘客に係る分析依頼
 - ・講習等のアウトプット方法の検討・実施
 - ・対面開催の場合、会場の使用など

【備考】
当業務については、愛媛県観光国際課による意向や協力状況によるため、まずは当課との連携強化等に向けて取り組む。

令和7年度事業報告

3 プロモーション事業

【事業名】

ジャパンエコトラック石鎚年間運営業務

〔事業費：（登録料）220,000円、（印刷料）1,232,000円〕

（委託先：ジャパンエコトラック推進協議会、(株)ネイチュアエンタープライズ）

【目的】

(株)モンベルが事務局を務める「ジャパンエコトラック推進協議会」において、全国の登山・サイクリスト向けのアクティビティエリア情報発信をブランド化している。当該エリアにいしづちエリアのルートマップを策定及び登録しており、全国的に情報発信を行うことで、石鎚山系への誘客を図った。

【内容】

- ・年間登録料（専用サイト等によるルートマップの掲載、専用冊子（石鎚版）の配布・在庫管理）
- ・専用冊子の増刷 12,000部

※令和7年度実績は別紙資料のとおり



令和8年度事業計画（案）

3 プロモーション事業①

【事業名】

ジャパンエコトラック石鎚年間運営業務

〔予算額：（登録料）220,000円〕

※増刷は2年に1回を予定している、令和8年度は増刷なし

【目的】

(株)モンベルが事務局を務める「ジャパンエコトラック推進協議会」において、全国の登山・サイクリスト向けのアクティビティエリア情報発信をブランド化している。当該エリアに石鎚山系を加え、全国的に情報発信を行うことで、石鎚山系への誘客を図る。

【内容】

- ・年間登録料（専用サイト等によるルートマップの掲載、専用冊子（石鎚版）の配布・在庫管理）



企画情報分科会

3 プロモーション事業②（PRパンフレット事業）

※PRパンフレット事業は、各分科会が担当する印刷物等を複数年計画で実施している

【事業名】

石鎚山系事故情報マップ更新事業

〔予算額：100,000円（校正）〕

【目的】

石鎚山系登山者の安全を確保するため、石鎚登山ロープウェイや土小屋、各登山口拠点に事故情報マップを貼りだし、注意喚起を行う。（令和4年度制作物を更新）

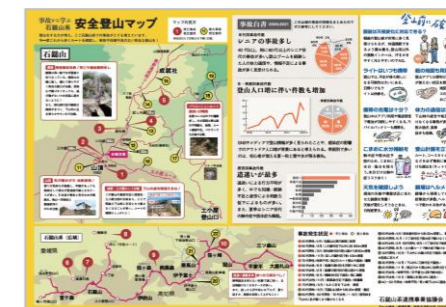
【内容】

軽装での登山者が増加傾向にあることから、事故情報を紙面に明示し、各拠点に張り出すことで、安全な登山を啓発。

- ・デザインデータは令和4年度制作物をベースに、西条市消防と協力の上新規制作する
- ・配布先：登山拠点等
- ・デザインデータはWEBサイトにも掲載（掲載ページ：安全に山を楽しむために）

【スケジュール】

- ・～9月 デザインデータの作成
- ・10月 データ納品



令和7年度事業報告

令和8年度事業計画（案）

≪石鎚国立公園指定70周年記念事業（協賛事業）について≫
 令和7年11月に石鎚国立公園指定70年を迎えることから、愛媛県を中心に様々な記念事業を実施。本協議会においても、協議会の本旨を踏まえつつ、協賛事業として右記2つの事業を実施した。

【主な事業（抜粋）】

- ・記念シンポジウム
- ・生きものの宝庫いしづちde宝探し
- ・ISHIZUCHIグルっと体験ラリー
- ・石鎚美術展



3 石鎚国立公園指定70周年記念事業①

【事業名】

いしづち36周遊ラリー（デジタルスタンプラリー）

〔事業費：526,432円（システム利用料、プロモーション費、賞品購入費など）〕

【目的】

石鎚山には年間8万5千人の来訪を誇る一方、いしづちエリアの山麓エリアにも多くの魅力ある自然や施設が点在している。山頂を目指す楽しみ方だけでなく、石鎚山系を広域で様々な魅力に触れあってもらうとともに、地域間の周遊を促進することで、いしづちエリア全体の活性化を図った。

【スポット】

・西条市観光交流センター（西条市）など4市町村36スポット

※「山麓（さんろく）」にちなみ36箇所選定

【スケジュール】

- ・6月～7月 施設依頼、印刷物制作など
- ・8月～1月 実施運営
- ・2月 当選、景品発送

【事業実績】

- ・実施期間：令和7年8月1日～令和8年1月31日
- ・ツアー参加者数（登録数）：297人
- ・施設訪問者数：126人
- ・施設訪問件数：延べ536件
- ・応募者数：延べ35人



プラットフォームは「SpotTour」を活用予定。
 （低価格で多言語対応、アクセス集計が可能）



企画情報分科会

3 石鎚国立公園指定70周年記念事業②

【事業名】

石鎚山系フォトコンテスト

〔事業費：237,520円（賞品購入費など）〕

【目的】

石鎚国立公園は、令和7年11月1日に指定から70周年を迎える。守り継がれてきた石鎚山系の多種多様な自然の特徴や魅力、またいしづちエリアの地域としての魅力を写真を通して表現し、「石鎚山系の素晴らしさ」を全国に情報発信するとともに、後世に引き継いでいく。

【応募方法】

Instagramによる投稿（専用ハッシュタグを使用）し、SNS内の石鎚山系に係る投稿充実を図る

【スケジュール】

- ・6月～7月 実施要領作成、関係者依頼
- ・8月～1月 募集
- ・1月～2月 審査、賞品発送
- ・2月～3月 写真展示、ポスター制作

※当選者との連絡やデータ提供が遅れたため、ポスター等の制作は次年度に実施予定

【事業実績】

- ・実施期間：令和7年9月1日～12月31日
- ・有効応募作品数：111点
- ・受賞作品数：28点



大賞作品



3 プロモーション事業③

【事業名】

石鎚山系フォトコンテスト 企画展示業務

〔予算額：450,000円〕

【目的】

令和7年度に実施した「石鎚山系SNSフォトコンテスト#いしづちびより」では、石鎚山系の多種多様な自然の特徴や魅力がある作品が多数受賞した。本作品を基とした写真に対し、オレンジフェリー東予港の4階待合室にて企画展示を実施することで、いしづちエリアへの来訪者に対し石鎚山系の更なる魅力発信を図る。

【内容】

フォトコンテスト受賞作品を現像し、オレンジフェリー東予港待合室で企画展示する。
 ※実施時期やスペースについては、四国開発フェリー(株)様と要相談

【スケジュール】

- ・7月～ 写真現像、イーゼル購入など
- ・10月～ 企画展示

東予港待合室



令和7年度事業報告		令和8年度事業計画（案）	
サイクリング分科会	<p>1 サイクリングコース等プロモーション事業① 【事業名】サイクリングコースマップ石鎚山系「天空RIDE」配布（完了） 【予算額 10,000円】 【実績額 0円】</p> <p>【目的】 四国内のサイクリングショップ及びお立ち寄りスポット等や、サイクリング分科会において重点的に情報発信を行うと位置づけをしている関西エリアのサイクリングショップ等に「天空RIDE」の設置を行うことで、四国内をはじめとして広域的な情報発信を行った。</p> <p>【内容】 令和6年度に引き続き、天空RIDEの設置を希望するお立ち寄りスポットとサイクルショップに配布を実施。 なお、数年に一度の増版としたことから配布数を絞ることとした。</p> <p>【実績】 年度を通して、約5,000部配布。主に過去に配布した施設からの再発送要請に応じる形で配布した。 事務局で管理する在庫は、2026年3月末時点で8,200部。（増刷分10,000部納品後、在庫が不足していた施設に配布。）</p>	<p>1 サイクリングコース等プロモーション事業① 【事業名】サイクリングコースマップ石鎚山系「天空RIDE」配布 【予算額 10,000円】</p> <p>【目的】 四国内のサイクリングショップや各市町の道の駅等の観光客、サイクリストが多く集まる観光施設等にマップを配置しつつ、送付の依頼が多い交通事業者等への提供も効果的に行い、域内へのサイクリスト流入を促す。 また、愛媛県が予定している2027年の「Velo-City2027」との連携の可能性について、愛媛県担当課にも打診しながら、海外のサイクリストへ石鎚山系のサイクリングの魅力発信を行なう。</p> <p>【内容】 ・主要観光スポット及びサイクルショップ等へ「天空RIDE」を配布する。なお、パンフレットの増刷が3年度ごとになるため、適切な配布量の調整を行う。 ・パンフレットの需要が高いことから、消費ペースを確認しつつ、残数も確認をするようにしていく。</p> <p>【スケジュール】 ・年間を通して実施する。</p>	
	<p>1 サイクリングコース等プロモーション事業②（PRパンフレット事業） ※PRパンフレット事業は、各分科会が担当する印刷物等を複数年計画で実施している</p> <p>【事業名】サイクリングコースマップ石鎚山系「天空RIDE」増刷、修正（完了） 【予算額 1,200,000円】 【実績額 1,036,200円： 校正業務 330,000円 / 印刷業務 706,200円】</p> <p>【目的】 令和7年度以降の利用者ニーズに応えるため、パンフレット「天空RIDE」の増刷を行う。あわせて、現状にそぐわない箇所や新規スポット情報について、加筆修正作業を実施する。</p> <p>【内容】 ・各市町村にて修正箇所、追加希望情報を確認 ・パンフレットを製作し、編集データ等を保有するえひめリビング新聞社へ加筆修正作業を依頼 ・印刷業務に関しては競争見積により（株）岡田印刷に印刷業務を発注、3月18日（金）に納品。</p> <p>【スケジュール】 ・5月：各市町村にて修正箇所、追加希望情報を確認。同時並行での印刷業者の選定作業を実施 ・6～8月：修正箇所を踏まえた校正作業 ・8月：校正作業完了 ・1月：競争見積執行、印刷業者決定 ・3月：納品完了</p>	<p>1 サイクリングコース等プロモーション事業② （「VeloCity2027」の開催に向けて）</p> <p>【事業名】石鎚山系サイクリングプロモーション動画制作事業（案） 【予算額： 1,000,000円】</p> <p>【目的】 2027年に愛媛県を会場に「Velo City 2027」が開催されることにあわせ、しまなみ海道だけでなく、四国の山岳地帯、とりわけ石鎚エリアにも優れた魅力的なサイクリングスポットがあることを紹介し、誘客するためのツールとして、英語版+日本語版のプロモーション動画を制作し、VeloCityを含めた各種イベント、各市町が国内外で出展する観光旅行商談会の場で活用することとする。また、道の駅やサイクリングターミナル、公共施設、最寄り駅などのデジタルサイネージやHP等のチャンネルも活用し、より多くの媒体を使って石鎚山系の魅力をPRする。</p> <p>【内容】 石鎚山系のおすすめのサイクリングスポット、周遊コースや域内観光PRに資する3分までの長さのプロモーション動画を制作する。なお、言語については、英語+日本語とする。</p> <p>【スケジュール】 ・7月～8月：制作業者決定 ・9月：制作開始 ・3月：制作完了・納品</p>	

令和7年度事業報告	令和8年度事業計画（案）
<p>1 サイクリングコース等プロモーション事業③ 【事業名】SNSによる継続的な情報発信(完了) [予算額 200,000円] [実績額 55,000円(5,500円×10件)]</p> <p>【目的】 H29年度に設置したサイクリング分科会のfacebook等のSNSにおいて、石鎚山系でのサイクリングの魅力並びに走行の安全面に係る注意喚起を継続的に発信し、サイクリストの誘客および事故防止を図った。</p> <p>【内容】 ・今年度は運営体制を見直し、分科会担当者が管理・運営を担当することとした。 ・対象エリアが広域であることなどから、PR記事作成は事務委嘱で対応することとした。エリア内の自転車事業者を対象に委嘱し、エリア内の最新情報発信に努めた。 ・各SNSのフォロワー数はFacebookは2,056名から2,067人に増加、Instagramは547名から543名に減少</p> <p>【スケジュール】 ・令和6年5月より分科会担当者による運営開始。 ・令和7年度はサポートライター6名による10件、担当者よる4件の計14件の記事を投稿</p>	<p>1 サイクリングコース等プロモーション事業③ 【事業名】SNSによる継続的な情報発信 [予算額 132,000円] (1投稿5,500円×6回×4市町村)</p> <p>【目的】 H29年度に設置したサイクリング分科会のfacebook等のSNSにおいて、石鎚山系でのサイクリングの魅力並びに走行の安全面に係る注意喚起を継続的に発信し、サイクリストの誘客および事故防止を図る。</p> <p>【内容】 ・管理・運営は各市町村分科会担当者が担当し、注意喚起やイベント情報発信等を実施する。 ・PR記事作成はエリア内の自転車事業者等を対象に委嘱することとする。</p> <p>【スケジュール】 ・気温低下等の外的要因からPRが難しい冬期を除き、1か月に2回を目安に、サイクリスト向けのPR情報を発信する。特に6月～11月のサイクリング情報を集めて発信する。 ・総会で承認が得られれば基本的には、各市町村で引き続き前年度の特派員に依頼し、サイクリング情報発信を速やかに開始してもらう。 ・冬季閉鎖されているUF0ラインや石鎚スカイラインの開通案内をSNS上で発信するなどの情報は、各市町村担当者にて対応。また、3月～5月の情報掲載の弱い時期の対応を強化する。 →サポートライター委託（6名を予定）</p>
<p>2 サイクリスト誘客による観光地域づくり事業 【事業名】域内サイクリングイベント企画実践研修会(天候不良により中止) [予算額 358,000円] [実績額 0円 (運営主体：当協議会事務局)]</p> <p>【目的】 <当初計画> 石鎚山系の認知度向上及び天空RIDEに掲載コースのPRを目的に、実際にコースを走って体験してもらった。あわせて、イベント造成に必要な運営ノウハウや、事業者を対象とした情報収集を実施した。得られた情報は、地域団体によるイベント開催を通じた地域活性化を目標とした、来年度事業へと繋げる。</p> <p><変更計画> 石鎚山系には多くの林道、山岳路が存在するが、これまでマウンテンバイクを意識したコンテンツづくりやサイクリングプロモーションは実施してこなかった。一方、愛媛県内に目を向けると、内子町においては近年“グラベル”に力を入れており、石鎚エリアにおいても、グラベル（orシクロクロス）等の潜在的なポテンシャルは高いものと考えられる。 そこで、オンロードのみを意識したこれまでの取り組みに加え、オフロードも意識した今後の取り組みの入口を学ぶことを目的に、愛媛県内子町の小田地区をフィールドとした“グラベル”の体験とコンテンツ提供者との意見交換を行い、今後の石鎚エリアでの事業化の参考とする。</p> <p>【内容】 <当初計画> ・パンフレット「天空RIDE」掲載コースをベースに、●●●周辺を走行するツアーイベントを実施した。情報収集を目的としたモニターツアーとし、参加者は観光・自転車事業者を対象に募集。●名が参加した。 ・イベント開催を通して得られたノウハウ、参加者向けに実施したアンケートを元に、情報収集を行った。</p> <p><変更計画> 今回は実体験＋意見交換会の座学を組み合わせた研修会を行い、石鎚エリアにおけるオフロードでのサイクリスト受け入れ機会の提供、受け入れ品質の向上、新たなコンテンツ提供に向けた情報収集とアイデア出しを行う。</p> <p>【スケジュール】 ・1月～2月：研修会内容の造成、サイクリングガイド事業者への業務委託締結 ・3月18日（水）：研修会実施（雨天により中止） ・3月末：実績検討結果及びアンケートとりまとめ</p>	<p>2 サイクリスト誘客による観光地域づくり事業 【事業名】域内サイクリングイベント企画実践研修会 [予算額 150,000円]</p> <p>【目的】 石鎚山系には多くの林道、山岳路が存在するが、これまでマウンテンバイクを意識したコンテンツづくりやサイクリングプロモーションは実施してこなかった。 一方、愛媛県内に目を向けると、内子町においては近年“グラベル”に力を入れており、石鎚エリアにおいても、グラベル（orシクロクロス）等の潜在的なポテンシャルは高いものと考えられる。 そこで、オンロードのみを意識したこれまでの取り組みに加え、オフロードも意識した今後の取り組みの入口を学ぶことを目的に、愛媛県内子町の小田地区をフィールドとした“グラベル”の体験とコンテンツ提供者との意見交換を行い、今後の石鎚エリアでの事業化の参考とする。</p> <p>【内容】 今回は実体験＋意見交換会の座学を組み合わせた研修会を行い、石鎚エリアにおけるオフロードでのサイクリスト受け入れ機会の提供、受け入れ品質の向上、新たなコンテンツ提供に向けた情報収集とアイデア出しを行う。</p> <p>【スケジュール】 ・5月～8月：研修会内容の造成、サイクリングガイド事業者への業務委託締結 ・9月～10月：研修会実施 ・11月～12月：実績検討結果及びアンケートとりまとめ</p>

サイクリング分科会

令和7年度事業報告	令和8年度事業計画（案）
<p>1 環境安全対策事業①</p> <p>【事業名】事故、環境被害情報収集・提言 [予算額 30,000円 実績額 41,016円]</p> <p>登山者、サイクリスト等の安全対策の充実と自然生態系保護のため、危険個所や希少植物の獣害による被害情報等の情報収集、検討を行うことにより、各自治体及び関係団体等に対し対策等求める提言を行う。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、消防及び警察等から遭難、事故の情報を聞き取り・収集し、集約。 ・各団体で共有することで、遭難防止の意識啓発に努めることとする。 ・どのエリアでどんな事故が生じているかをまとめる。 <p>【スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度内→情報収集(資料5-2、5-3) ・シカモニタリングアプリ講習会(資料5-4) →令和7年6月21日実施 	<p>1 環境安全対策事業①</p> <p>【事業名】事故、環境被害情報収集・提言 [予算額 0円]</p> <p>【目的】</p> <p>登山者、サイクリスト等の安全対策の充実と自然生態系保護のため、危険個所や希少植物の獣害による被害情報等の情報収集、検討を行うことにより、各自治体及び関係団体等に対し対策等求める提言を行う。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、消防及び警察等から遭難、事故の情報を聞き取り・収集し、集約。 ・各団体で共有することで、遭難防止の意識啓発に努めることとする。 ・どのエリアでどんな事故が生じているかをまとめる。 ・WEB掲載可能な部分は、石鎚山系公式WEBサイトに掲載予定 <p>【スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度内 消防及び警察等へWEB掲載可能な範囲を協議。
<p>1 環境安全対策事業②</p> <p>【事業名】 登山道整備等 [予算額350,000円 実績額 170,180円]</p> <p>【目的】</p> <p>笹や下草が密生し、転倒や遭難の原因となりかねない登山道が多く、登山者を安全に受け入れる整備が十分に整っているとは言えない状況となっている。特にボランティア団体等の有志が整備を行っていない登山道においては、密生状況が顕著である。</p> <p>このような状況を改善し、登山者に安全で快適な登山を楽しんでもらえることを目的に、登山道の除草を行い、石鎚山系登山のイメージアップを図る。</p> <p>また、登山道の補修などの技術継承を目的に、補修体験イベントの実施を計画する。</p> <p>これらの取り組みにより、将来的に、イベントの実施やボランティア等での持続的な登山道整備につなげる。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア団体等の手が入っていない登山道の除草を行う。 ・登山道補修体験イベント実施予定 <p>【スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年7月1日実施（神鳴池～自念子ノ頭）資料5-4 ・令和7年8月23日除草実施（寒風山～笹ヶ峰）資料5-4 	<p>1 環境安全対策事業②</p> <p>【事業名】 登山道整備等 [予算額 380,000円]</p> <p>【目的】</p> <p>笹や下草が密生し、転倒や遭難の原因となりかねない登山道が多く、登山者を安全に受け入れる整備が十分に整っているとは言えない状況となっている。特にボランティア団体等の有志が整備を行っていない登山道においては、密生状況が顕著である。</p> <p>このような状況を改善し、登山者に安全で快適な登山を楽しんでもらえることを目的に、登山道の除草を行い、石鎚山系登山のイメージアップを図る。</p> <p>また、登山道の補修などの技術継承を目的に、補修体験イベントの実施を計画する。</p> <p>これらの取り組みにより、将来的に、イベントの実施やボランティア等での持続的な登山道整備につなげる。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア団体等の手が入っていない登山道の除草を行う。 ・登山道補修体験イベント実施予定 <p>【スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月以降 除草(名野川～筒上山) ・11月 シカ対策テープ巻(笹ヶ峰)

		令和7年度事業報告	令和8年度事業計画（案）
環境安全対策・登山分科会	1 環境安全対策事業③	<p>【事業名】 自然資源調査 〔予算額110,000円 実績額 37,551円〕</p> <p>【目的】 石鎚山系に自生する希少植物などは、観光資源であるとともに保全の対象であるため、生育状況等の把握、保全に努める。</p> <p>【内容】 ・石鎚山系のいずれかのルートでの植物調査を実施予定。併せてニホンジカ等の影響についても記録をする。 ・掲載可能な部分は公式WEBサイトに掲載予定</p> <p>【スケジュール】 ・5月～9月 現地調査（笹ヶ峰） ・10月～1月 調査結果整理 ・2月 調査結果報告</p>	<p>1 環境安全対策事業③</p> <p>【事業名】 登山道パトロール 〔予算額 110,000円〕</p> <p>【目的】 登山道の状況及び石鎚山系でのニホンジカによる植生への影響を把握する。</p> <p>【内容】 登山マップ等に掲載されているものの、登山者の少ない登山ルートについて現状を把握する</p> <p>【スケジュール】 ・6月～9月 現地調査 ・10月～1月 調査結果整理</p>
	2 登山者等受入態勢強化 ロングトレイルコース受入態勢整備	<p>【事業名】日本ロングトレイル協会年会費 〔予算額10,000円 実績額 10,000円〕</p> <p>【目的】 全国のトレイル運営機関・諸団体による多角的な広報活動と普及促進、更には情報交流などを行い、持続可能なトレイルの普及とゆるやかな情報ネットワークの構築を目的に設立された日本ロングトレイル協会への加盟を継続する。</p> <p>【内容】 ・協会年会費の負担 ・日本ロングトレイル協会の特設ページ（山と渓谷オンライン）への石鎚山系ロングトレイルの紹介記事掲載</p> <p>【スケジュール】 ・5月 年会費支払 ・6月 記事出稿（掲載済み）</p>	<p>2 登山者等受入態勢強化 ロングトレイルコース受入態勢整備</p> <p>【事業名】日本ロングトレイル協会年会費 〔予算額 10,000円〕</p> <p>【目的】 全国のトレイル運営機関・諸団体による多角的な広報活動と普及促進、更には情報交流などを行い、持続可能なトレイルの普及とゆるやかな情報ネットワークの構築を目的に設立された日本ロングトレイル協会への加盟を継続する。</p> <p>【内容】 ・協会年会費の負担 ・特設ページ（山と渓谷オンライン）への石鎚山系ロングトレイルのおすすめスポット記事掲載 ・地方局テレビ番組（情報番組）での石鎚山系ロングトレイルの紹介予定</p> <p>【スケジュール】 ・5月 年会費支払 ・5月 記事出稿（掲載未定） ・未定 テレビ番組（情報番組）放送</p>

令和7年本川駐在所管内事故取扱件数

	発生日	道路名	場所	事故内容	当事者①	当事者②	
1	1月9日	国道194号	戸中	除雪車が道路接合部に接触	40代男性		死亡事故
2	1月29日	国道194号	戸中	車がフェンスに衝突	50代男性		
3	2月12日	国道194号	戸中	車同士が衝突(凍結)	20代男性	50代男性	
4	2月22日	国道194号	戸中	車が脱輪	30代男性		
5	3月1日	国道194号	桑瀬	車が縁石に衝突	60代男性		
6	3月4日	国道194号	葛原	車が標識に衝突	30代男性		
7	3月6日	国道194号	桑瀬	車が縁石に衝突衝突	20代男性		
8	4月7日	町道	長沢	後退中の車がフェンスに衝突	50代男性		
9	4月23日	県道石鎚公園線	越裏門	樹木が落下し車に衝突		60代男性	
10	4月26日	県道石鎚公園線	寺川	自転車が転倒	40代男性		
11	4月27日	町道一の谷線	桑瀬	バイクと車がすれ違い時に接触	20代男性	60代女性	
12	5月4日	国道194号	桑瀬	停止中のバイクと車が衝突(ひき逃げ)	不詳	男性	人身事故
13	5月9日	町道	長沢	後退中の車が脱輪	60代男性		
14	5月20日	町道瓶ヶ森西線	寺川	車が擁壁に衝突	30代男性		
15	6月1日	駐車場	桑瀬	後退中の車が駐車車両に衝突	60代男性	40代男性	
16	6月17日	国道194号	葛原	走行中の車に飛び石が衝突	60代男性		
17	6月18日	国道194号	戸中	車同士が出会い頭に衝突	60代男性	20代男性	
18	6月23日	県道本川大杉線	葛原	車が脱輪	80代男性		
19	6月25日	国道194号	葛原	車が擁壁に衝突	60代男性		
20	7月20日	町道瓶ヶ森線	中野川	車が脱輪	60代男性		
21	7月20日	町道瓶ヶ森線	中野川	車が脱輪	20代男性		
22	7月27日	町道瓶ヶ森西線	寺川	車同士が出会い頭に衝突	60代男性	60代男性	
23	8月2日	町道一の谷線	桑瀬	車が擁壁に衝突	20代男性		
24	8月15日	町道瓶ヶ森線	桑瀬	車が脱輪	20代女性		
25	9月14日	町道瓶ヶ森西線	寺川	後退中の車がガードパイプに衝突	50代男性		
26	10月2日	町道一の谷線	桑瀬	車が脱輪	30代男性		
27	10月10日	町道一の谷線	桑瀬	車がガードレールに衝突	20代男性		
28	10月11日	町道瓶ヶ森西線	寺川	車同士が出会い頭に衝突	40代男性	40代男性	
29	10月12日	町道瓶ヶ森西線	寺川	車同士がすれ違い時に接触	20代男性	60代男性	
30	10月13日	町道一の谷線	桑瀬	車同士がすれ違い時に接触	80代男性	20代女性	
31	10月14日	国道194号	大森	車同士が出会い頭に衝突	60代男性	50代男性	
32	10月19日	林道	桑瀬	バイクの立ちゴケ	50代男性		
33	10月22日	国道194号	戸中	大型トレーラーとトラックが正面衝突	男性	男性	人身事故
34	10月26日	町道瓶ヶ森線	桑瀬	バイクの自損転倒	50代男性		
35	11月2日	町道一の谷線	桑瀬	バイクが脱輪	70代男性		
36	11月16日	町道瓶ヶ森西線	寺川	バイクと車が正面衝突	20代男性	80代女性	
37	11月16日	町道瓶ヶ森線	中野川	当て逃げ		60代男性	
38	11月19日	町道瓶ヶ森線	桑瀬	車が脱輪	30代男性		
39	12月7日	国道194号	葛原	バイクの自損転倒(凍結)	50代男性		
40	12月7日	国道194号	葛原	バイクの自損転倒(凍結)	20代男性		
41	12月7日	国道194号	葛原	バイクの自損転倒(凍結)	50代男性		
42	12月18日	国道194号	大森	車がスリップし看板に衝突(凍結)	40代男性		
43	12月29日	町道一の谷線	桑瀬	車が脱輪(凍結)	20代男性		

山岳遭難発生状況（令和7年中）

山岳遭難発生状況（令和7年中）

◆発生状況

発生件数	遭難者数	遭難者	
		死者	負傷者
29件 (+8)	30人 (+9)	6人 (+5)	9人 (+1)

※（ ）内の数値は前年比を示しています。

◆概要

	月	場所	遭難者		態様
			年齢層	性別	
1	1月	石鎚山系	20代	男	病気
2	2月	石鎚山系	50代	男	道迷い
3	2月	石鎚山系	50代	男	不明
4	3月	西条市内の山中	20代	男	滑落
5	4月	石鎚山系	70代	男	滑落
6	4月	新居浜市内の山中	80代	男	道迷い
7	5月	石鎚山系	60代	男	転倒
8	6月	四国中央市内の山中	20代	男	滑落
9	6月	松山市内の山中	50代	男	道迷い
10	6月	四国中央市内の山中	70代	女	滑落
11	6月	赤石山系	50代	男	滑落
12	6月	今治市内の山中	80代	男	滑落
13	7月	石鎚山系	30代	男	疲労
14	7月	石鎚山系	50代	女	疲労
15	7月	石鎚山系	50代	女	滑落
16	7月	石鎚山系	30代	女	道迷い
			30代	女	道迷い
17	8月	石鎚山系	70代	男	疲労
18	9月	石鎚山系	30代	男	滑落
19	9月	石鎚山系	60代	男	道迷い
20	9月	石鎚山系	80代	男	滑落
21	9月	久万高原町内の山中	60代	女	道迷い
22	10月	石鎚山系	60代	男	滑落
23	10月	石鎚山系	60代	男	疲労
24	10月	石鎚山系	40代	女	転倒
25	10月	石鎚山系	50代	女	疲労
26	10月	赤石山系	80代	男	滑落
27	10月	石鎚山系	50代	女	転倒
28	10月	石鎚山系	50代	女	病気
29	10月	赤石山系	30代	男	道迷い

令和 7 年度 環境安全対策分科会 活動実績

●シカモニタリングアプリ講習会

日 程 : 令和 7 年 6 月 21 日 (土) AM10:00~12:00

講習場所 : 木の香温泉イベントホール

講 師 : 渡邊 敬逸 氏 愛媛大学社会共創学部環境デザイン科
山本 貴仁 氏 NPO 法人 西条自然学校

参加人数 : 15 名



●登山道除草事業 (神鳴池~自念子ノ頭)

日 程 : 令和 7 年 7 月 1 日 (火) AM9:00~12:00

参加人数 : 18 名



●登山道除草委託 (寒風山~笹ヶ峰)

日 程 : 令和 7 年 8 月 23 日 (土) AM8:00~15:00

委託先 : NPO 法人 山のボランティアネットワーク

参加人数 : 17 名



作業中

作業後

令和7年度事業報告

令和8年度事業計画（案）

1 DPF運営①

【業務名】

DPF管理運営委託業務

〔事業費：6,462,500円〕

（委託先：株式会社ソラヤマいしづち 契約期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日）

【目的】

「旅は人まかせ」に登録するキャストの情報の管理を行うとともに、ユーザーの顧客管理、問い合わせ対応、予約管理やキャストへの連絡調整を行う。

また、任意保険および外部決済サービスに関する契約・支払業務や、SNS運用、イベント出展等のプロモーション活動を含む運営の管理業務を担う。

【内容】

・DPF管理業務 ①規約、契約（②保険、③決済）

・キャスト情報一元管理業務

・DPF運営業務

・DPF情報発信業務

・モデルコース企画案作成業務



1 DPF運営

【業務名】

DPFプロモーション等

〔予算額：200,000円〕

【目的】

引き続きサービスを継続するうえで、SNS運用、イベント出展等のプロモーション活動を行う。

【内容】

・イベント出店に係るキャスト費用弁償

・PR広告料

・チラシ等ノベルティ作成費 他



1 DPF運営②

【業務名】

キャスト発掘委託業務

〔事業費：429,000円〕

（委託先：一般社団法人久万高原町観光協会 契約期間：令和7年6月3日～令和7年7月31日）

【目的】

DPFのコンテンツ力向上には一定以上のキャストを確保する必要があることから、キャスト候補者へ当該事業の主旨に共感してもらい、DPFの参画について同意をもらうためのキャスト発掘作業を行う。また、DPFの実装に向け、より充実したキャスト情報や体験コンテンツを提供するため、同意をもらったキャスト及びコンテンツの情報整理等（取材・編集）を行う。

【内容】

・賛同キャストへの取材・原稿作成（紹介文、キャッチコピー、体験内容等）

・体験コンテンツ企画支援（キャストの特性を活かした企画創出）

キャスト取材



令和7年度事業報告

令和8年度事業計画（案）

2 キャスト育成・体験コンテンツ造成

【業務名】

人材育成委託業務

〔事業費：5,990,600円〕

（委託先：クラブツーリズム株式会社 契約期間：令和7年6月10日～令和8年3月13日）

【目的】

DPFを通じて来訪する観光客（来訪者）の受け入れ体制を強化するため、キャストのスキルアップや商品造成力向上に向けた育成プログラムを実施する。

【内容】

- ・人材育成方針の見直し・再策定（短期・中長期計画）業務
- ・自社メディアを活用した事業ニーズ調査と過去調査を基にしたリバイス素材・事例集作成
- ・キャスト実地研修業務
- ・キャスト交流研修会の開催業務

キャスト実地研修



3 マーケティング・プロモーション①

【業務名】

マーケティング及びプロモーション委託業務

〔事業費：8,415,000円〕

（委託先：株式会社大広 契約期間：令和7年6月3日～令和8年3月13日）

【目的】

昨年度に引き続き「旅は人まかせ」の集客促進及び認知拡大を目的としたPRを実施する。受注者がプロモーションにおける企画立案、ランディングページ（以下「LP」という。）作成、広告運用、効果測定等のプロモーション施策を実施することにより、効果的なPRとして事業継続および集客力拡大を目指すものである。

【内容】

- ・プロモーション施策企画・検討
- ・LP制作・改修、広告デザイン制作（バナー、テキスト広告等）
- ・広告出稿（媒体選定、出稿設計、入稿、運用、レポートニング）
- ・分析業務（アクセス解析、効果測定、改善提案）

マーケティング・プロモーション



令和7年度事業報告

令和8年度事業計画（案）

3 マーケティング・プロモーション②

【業務名】

夏休みイベントガイド広告費

〔事業費：385,000円〕

（契約先：伊予鉄総合企画（株））

【目的】

愛媛県及び高知県内の全小中学校・保育幼稚園の子どもたちに直接配布されている当該媒体にイベント周知を掲載し、夏の集客に向けたプロモーションを強化するもの。

【内容】

- ・愛媛県版夏休みイベントガイドへの掲載（約15万部）
- ・高知県版夏休みイベントガイドへの掲載（約7万部）

夏休みイベントガイド



4 システム開発・インフラ提供

【業務名】

第3期DPF構築委託業務

〔事業費：8,415,000円〕

（委託先：ジョージ&ショーン株式会社 契約期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日）

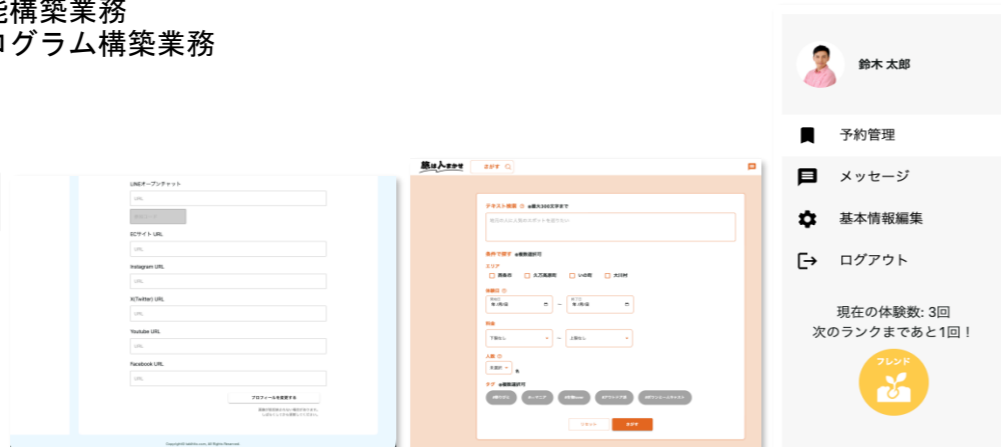
【目的】

DPFの利用拡大やキャストの収益性を高めるためのEC機能を実装する。また、ユーザーにサービスの提案を行うリコメンドAI機能を実装する。さらには、キャストやいしづちエリアへの共感、帰属意識を昨日として、ロイヤリティプログラムの提供が可能なシステムを開発する。

【内容】

- ・EC機能構築業務
- ・リコメンドAI機能構築業務
- ・ロイヤリティプログラム構築業務

システム開発



「旅は人まかせ」実績

▼①来訪者数

	R5	R6	R7	R7WS	R7計	累計
件数		10	86	97	183	193
人数		28	196	98	294	322
売上 (C)		190,920	528,000	113,500	641,500	832,420

▼②消費額

消費額計算	R5	R6	R7	累計
売上		190,920	641,500	832,420
アンケート (回答数33件)		120,990	264,924	385,914
計		311,910	906,424	1,218,334

▼③キャスト数

	R5	R6	R7	累計
キャスト数	55	75	10	140
西条市	33	43	4	80
久万高原町	10	16	5	31
いの町	7	16	0	23
大川村	5	0	1	6

SNS (公式Instagram)



2026/6/8時点

フォロワー数	440
投稿数	55

令和 8 年度以降の運用体制

【整理】

体制 石鎚山系連携事業協議会とジョージ・アンド・シヨーン株式会社の協同事業として継続し、著作権を共有する。

期間 令和 8 年 4 月からの 5 年間は保守管理・サーバー費等が無償

【今後の動き】

6 月～

○体験商品のブラッシュアップ

まち歩きコンテンツの造成



夏ころ～

○サイトのリニューアル



デザイン案

OPR活動 (イベントへの出展等)



石鎚山系連携事業協議会
令和7年度 一般会計収支決算書

1 収入の部

(単位：円)

区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	差引額 (B-A)	備 考
1 負担金	4,560,000	4,560,000	0	(固定負担250,000円+割合負担)
市町村負担金	4,560,000	4,560,000	0	西条市 2,279,200 久万高原町 926,400 いの町 997,600 大川村 356,800
2 雑収入	3,000	8,482	5,482	利子等(予測) 8,482
3 繰越金	2,385,855	2,385,855	0	令和6年度終了時の通帳残 2,385,855
4 寄附金	0	494,000		GCFによる追加負担金(西条市) 484,000 個人寄附(愛媛大学山岳会) 10,000
計	6,948,855	7,448,337	499,482	

2 支出の部

(単位：円)

区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	差引額 (B-A)	備 考
1 運営費	380,000	301,336	△ 78,664	
①協議会等運営費	330,000	278,236	△ 51,764	報償費、旅費、食糧費、需用費等 278,236
②事務費	50,000	23,100	△ 26,900	振込手数料 23,100
2 事業費	6,210,000	4,060,459	△ 2,149,541	
①情報発信・プロモーション関係	2,210,000	1,946,560	△ 263,440	公式WEBサイト保守・運営 494,560 愛媛県観光DMP活用 0 ジャパ [®] ンエコトラック石鎚年間運営 220,000 ジャパ [®] ンエコトラック石鎚 [®] ンフレット増刷 1,232,000
②石鎚国定公園指定70周年記念事業(企画情報分科会)	1,800,000	763,952	△ 1,036,048	デジタルスタンプラリー 526,432 石鎚山系フォトコンテスト 237,520
③サイクリング関係	500,000	55,000	△ 445,000	天空ライド [®] 配布 0 SNS情報発信 55,000 サイクリングイベント講習会 0
④環境安全対策・登山関係	500,000	258,747	△ 241,253	事故・環境被害情報収集・提言(シカモニタリングアプリ講) 41,016 登山道整備 170,180 自然資源調査 37,551 日本ロングトレイル協会年会費 10,000
⑤PRパンフレット事業	1,200,000	1,036,200	△ 163,800	天空RIDE校正、増刷 1,036,200
小計(1+2)	6,590,000	4,361,795	△ 2,228,205	
3 基金	0	484,000	484,000	基金収納後、翌年度へ繰越し(GCF充当分)
4 予備費	358,855	0	△ 358,855	
計	6,948,855	4,845,795	△ 2,103,060	

収入決算額7,448,337円 - 支出決算額4,845,795円 = 翌年度繰越額2,602,542円

監 査 報 告 書

「令和7年度 石鎚山系連携事業協議会 一般会計」に係る収支決算の監査を実施した結果、諸帳簿の記録及び事務処理等適正に処理されていると認めます。

令和 8 年 4 月 24 日

石鎚山系連携事業協議会

監 事

佐藤 理昭



石鎚山系連携事業協議会

監 事

田 渕 史 剛



石鎚山系連携事業協議会
令和 7 年度 特別会計収支決算書

1 収入の部

(単位：円)

区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	差引額 (B - A)	備 考
1 負担金	40,109,000	40,109,000	0	
市町負担金	40,109,000	40,109,000	0	西条市 34,032,000 久万高原町 2,431,000 いの町 2,431,000 大川村 1,215,000 ※負担割合は四国西部エリア事業の計算を活用
2 手数料	385,200	84,237	△ 300,963	DMP「旅は人まかせ」サービス 利用料 (令和7年度分) 84,237
3 雑収入	20,000	91,842	71,842	銀行利息 64,478 前年度繰越金 27,364
4 戻入	0	△ 7,516,132	△ 7,516,132	事業完了後の余剰金 を西条市へ戻入 △ 7,516,132
計	40,514,200	32,768,947	△ 7,745,253	

2 支出の部

(単位：円)

区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	差引額 (B - A)	備 考
1 運営費	1,385,000	226,187	△ 1,158,813	
分科会運営費	1,385,000	226,187	△ 1,158,813	消耗品費等 212,107 事務手数料 14,080
2 事業費	38,724,000	32,542,760	△ 6,181,240	
DPF運営事務委託費	9,924,000	6,462,500	△ 3,461,500	委託費 6,462,500
キャスト発掘	4,000,000	429,000	△ 3,571,000	委託費 429,000
キャスト育成及び体験コンテンツ監修	6,000,000	5,990,600	△ 9,400	委託費 5,990,600
マーケティング調査・プロモーション費	8,800,000	8,800,000	0	委託費、広告費 8,800,000
システム開発・サービスインフラ提供	10,000,000	10,860,660	860,660	委託費 8,415,000 通信運搬費 2,445,660
小計	40,109,000	32,768,947	△ 7,340,053	
3 予備費	405,200	0	△ 405,200	
計	40,514,200	32,768,947	△ 7,745,253	

監 査 報 告 書

「令和 7 年度 石鎚山系連携事業協議会 特別会計」に係る収支決算の監査を実施した結果、諸帳簿の記録及び事務処理等適正に処理されていると認めます。

令和 8 年 4 月 24 日

石鎚山系連携事業協議会

監 事

佐藤 理 昭



石鎚山系連携事業協議会

監 事

田 刈 史 剛



議案第3号 石鎚山系連携事業協議会規約の一部改正について（特別会計廃止関係）

1 要旨

本協議会では、ポストコロナにおける新たな観光施策として、いしづちエリアにおいて様々な分野で活躍する人材(キャスト)のスキルや趣味、ライフスタイルなどの特徴を活かした独自の滞在コンテンツを創出するとともに、それに共感する観光客等とのマッチングを可能とするデジタルプラットフォーム（以下「DPF」という。）、「旅は人まかせ（令和6年サービス開始）」を構築し、誘客を推進してきた。

本事業の実施においては、令和5年度に「デジタル田園都市国家構想交付金（内閣府）」の採択を受け、協議会内に「デジタルプラットフォーム推進分科会」及び特別会計予算を新設し進めてきたところ。

令和7年度末に交付金事業が終了し、特別会計としての役割を終えたことから、本議案にて特別会計を廃止し、デジタルプラットフォーム推進分科会を一般会計にて運営することとしたい。

なお、DPF制作事業者より提案を受け、同DPFの主導権（保守運営等）を事業者へ委任し、無償貸与により今後5年間システム利用を受けることとなっている。（同DPFの所有権は、発注元の協議会と制作事業者が共同で有する）本運営に係るランニングコストを抑えることにより、今後は「旅は人まかせ」の認知向上及びキャストの活躍の場の増進に注力してまいりたい。

2 添付資料

- ・組織図改定案
- ・石鎚山系連携事業協議会規約の一部を改正する規約（見え消し）



「旅はひとまかせ」トップページ

県内各地のフェア等で
キャストの体験コンテンツをPR

＜協議会の事業目的＞

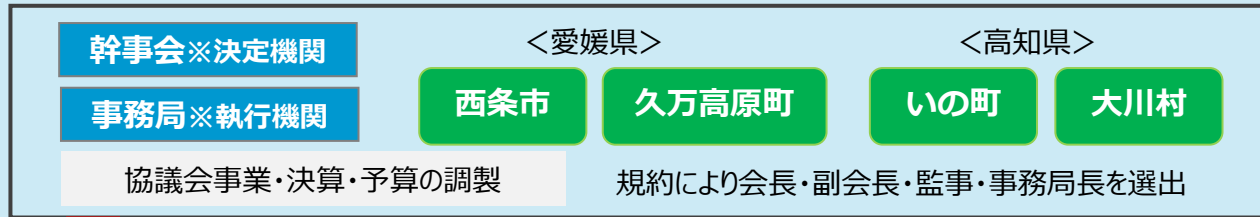
石鎚山系の限られた資源の中において、より効率的な事業実施や利用者の満足度向上のため、エリア内の4市町村が**行政の枠を超え**、多面的かつ実効的な取り組みを実施することで、豊富な生態系を有する石鎚山系を**持続可能な資源として振興**する。

＜検討会の事業目的＞

豊富な自然や魅力ある登山道を有する石鎚山系では、**向り手の高齢化**や**自治体に依存した財源負担**など課題がある。今後将来にわたり自然や登山道を守り、**次代へつなく仕組みづくり**が喫緊の課題であることから、**受益者負担による入山協力金の導入**に向けてステークホルダーと共に検討を行う。

議案第5号関係

組織体制



コメンター・オブザーバー

委員・オブザーバー

行政・大学機関・観光事業者・交通事業者・山岳関係者など幅広く選出

検討会 ※議決権なし

協議会 ※諮問・議決機関

協議会事業・決算・予算の議決

【一般会計】

(案) デジタルプラットフォーム推進分科会特別会計を廃止 ※令和8年度総会で議決

新設
石鎚山系入山協力金導入検討会
導入目的、徴収方法、活用方法等を検討
石鎚山系を守る仕組みづくりを検討

議案第5号関係

検討委員（コメンター）はすべての検討会に、検討オブザーバーは議題に応じて出席

持続可能な維持管理体制の構築により、石鎚山系の魅力を次代へつなげる

企画情報分科会

新たな魅力創出、情報発信体制の構築。

各種事業を連携して実施

デジタルプラットフォーム推進分科会

いしづちエリアの「ヒト」を軸に観光マッチングサービス事業を展開。

デジタルプラットフォーム「旅はひとまかせ」を運営

サイクリング分科会

サイクリング受入態勢の整備。サイクリングによる誘客。

環境安全対策・登山分科会

登山者の満足度向上、安全対策。自然環境の保全。

環境保全・安全対策等による利用者の満足度向上
登山者等増加、地域経済の好循環創出

事業者の経済支援、関係人口の増加、移住見込者の増進

石鎚山系連携事業協議会規約

(名称)

第 1 条 この協議会は、石鎚山系連携事業協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(目的)

第 2 条 協議会は、愛媛県西条市、愛媛県上浮穴郡久万高原町、高知県吾川郡いの町及び高知県土佐郡大川村（以下「4市町村」という。）が、石鎚山系を中心とした観光振興、情報発信、環境保全、安全対策等の施策を多面的かつ実効的に講ずることにより、石鎚山系周辺地域における地域活性化及び石鎚山系の持続可能な資源化の両立を図ることを目的とする。

(所掌事項)

第 3 条 協議会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 石鎚山系の観光振興に関すること。
- (2) 石鎚山系の情報発信の強化に関すること。
- (3) 石鎚山系の豊富な自然環境を持続可能な資源とするための取組に関すること。
- (4) 石鎚山系の登山者等の安全対策の充実に関すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、目的達成するために必要な事業

(組織)

第 4 条 協議会は、別表に掲げる委員（以下「委員」という。）をもって組織する。

2 協議会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 1人
- (3) 監事 2人

3 会長又は副会長及び監事は、相互に兼ねることができない。

(委員の任期)

第 5 条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けたときの補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 協議会の設立当初の委員の任期は、前項の規定にかかわらず、設立総会の日から平成31年3月31日までとする。

3 委員は、再任されることができる。

(役員を選任及び職務)

第 6 条 会長は、4市町村の副市町村長の互選により定める。

2 会長は、協議会を代表し、その会務を総理する。

3 副会長及び監事は、4市町村の副市町村長のうちから会長が指名する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、

その職務を代理する。

- 5 監事は、協議会の会計の監査を行い、当該監査の結果を会長に報告しなければならない。

(役員任期及び不在時の選任)

第7条 役員任期は、1年とする。ただし、役員が欠けたときの補欠の役員任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 協議会の設立当初の役員任期は、前項の規定にかかわらず、設立総会の日から平成30年3月31日までとする。

- 3 役員は、再任されることができる。

- 4 任期中に会長及び副会長が欠けた場合は、監事2名の互選により会長を選出する。

- 5 任期中に監事2名が欠けた場合は、副会長を監事に転任する。

- 6 任期中に役員が3名以上欠けた場合は、第12条に規定する事務局が委員の中から不在となる代理役員を選出し、第8条に規定する会議によってこれを承認する。ただし、不在となる副市町村長が新たに自治体に就任された場合は、速やかに当該代理役員の任を解き、新たな副市町村長が当該役員に就任する。

(会議)

第8条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集し、その議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数の出席がなければ、開くことができない。

- 3 委員は、都合により会議を欠席する場合、代理の者を出席させることができることとし、あらかじめ会長に代理の者の氏名等を報告することにより、その代理の者の出席をもって当該委員の出席とみなす。

- 4 会議の議事は、出席委員の過半数以上の賛成をもって決するものとする。

- 5 会議は、これを公開する。ただし、会議を公開することにより公正かつ円滑な議事運営に支障が生じると認められる協議については、非公開とすることができる。

- 6 協議会は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明若しくは意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(会議の開催が困難である場合の特例)

第9条 会長は、次に掲げる事項について、全ての委員に対し、書面又はこれに代わる電磁的記録(電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録をいう。)により、会議に付すべき事項を回議することをもって同条の会議の開催に代えることができる。

- (1) やむを得ない事由により第8条の会議の開催が困難であると認めるとき
- (2) 事業又は予算の変更において、第11条に規定する分科会によって事前に合意形成が図れているとき

(3) 本規約の改正において、書面等で改正理由を簡潔に説明できるとき

(4) 第7条第6号に規定する補欠の役員を承認するとき

(5) その他、軽易な事項であって会長が特に必要ないと認めるとき

(幹事会)

第10条 協議会は、協議会に提案する事項について協議又は調整をするため、必要に応じ幹事会を置くことができる。

2 幹事会は、4市町村の観光担当部署の職員をもって組織する。

3 幹事会の代表は、会長が属する市町村の観光担当部署の長をもって充てる。

4 幹事会は、幹事会の代表が招集し、次に掲げる事項について協議または調整をする。

(1) 会議に提案する事項

(2) 第14条に規定する4市町村の負担金の割合及び金額

(3) 次条に規定する分科会の構成員

(4) その他必要な事項

(分科会)

第11条 協議会は、第3条に規定する事項について専門的な調査、検討及び事業の執行を行うため、必要に応じ分科会を置くことができる。

2 分科会の代表は、当該分科会に属する委員の互選により選出する。

3 分科会は、分科会の代表が必要と認める場合に、随時当該分科会に属する委員を招集する。

4 分科会は、必要があると認めるときは、分科会に委員以外の者の出席を求め、説明若しくは意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(事務局)

第12条 協議会の業務を処理するため、会長が属する市町村の観光担当部署に事務局を置く。ただし、任期中に会長が欠けた場合は、留任を妨げない。

2 事務局長は、前項に規定する市町村の観光担当部署の長をもって充て、事務局員は、同部署の職員をもって充てる。

3 前2項に定めるもののほか、事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(会計年度)

第13条 協議会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

2 協議会の設立当初の会計年度は、前項の規定にかかわらず、設立総会の日から平成30年3月31日までとする。

(資金)

第14条 協議会の運営に要する資金は、4市町村の負担金その他の収入をもって充てる。

(予算)

第 1 5 条 会長は、毎会計年度予算を調製し、協議会の承認を経なければならない。

(決算及び監査)

第 1 6 条 会長は、毎会計年度終了後、遅滞なく、協議会の決算を調製し、監事の監査に付さなければならない。

(財務に関する事項)

第 1 7 条 協議会の出納その他の財務に関し必要な事項は、会長が別に定める。

~~—(特別会計の設置)—~~

~~第 1 8 条 地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 209 条第 2 項の規定を準用し、次の各号に掲げる特別会計を当該各号に定める目的のため設置する。~~

~~—(1) デジタルプラットフォーム推進分科会特別会計—デジタルプラットフォーム推進分科会に係る事業~~

(基金の設置)

~~第 1 9 条~~ 第 1 8 条 本協議会の目的に共感し、石鎚山系の地域資源を大切に思う人々の寄附を通じ、寄附者の社会的投資を具体化し、もって多様な人々の参加による地域づくりに資するため、石鎚山系ふるさと振興基金(以下「基金」という。)を設置する。

(積立て)

~~第 2 0 条~~ 第 1 9 条 基金として積み立てる額は、ガバメントクラウドファンディング等からの寄附金及び運用における銀行利息の額の範囲内とする。

(管理)

~~第 2 1 条~~ 第 2 0 条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他最も確実かつ有利な方法により保管しなければならない。

(繰替運用)

~~第 2 2 条~~ 第 2 1 条 会長は、協議会運営上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することができる。

(処分)

~~第 2 3 条~~ 第 2 2 条 基金は、~~第 1 9 条~~ 第 1 8 条に規定する基金の設置の目的を達成するために必要な経費の財源に充てる場合に限り、これを処分することができる。

(委任)

~~第 2 4 条~~ 第 2 3 条 この規約に定めるもののほか、基金の管理に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(報酬及び費用弁償)

~~第 2 5 条~~ 第 2 4 条 協議会の委員等の報酬及び費用弁償に関する必要な事項は、会長が属する市町村の条例、規則等の例による。

(協議会が解散した場合の措置)

~~第 2-6 条~~ **第 2 5 条** 協議会が解散した場合には、協議会の収支は、解散の日をもって打ち切り、会長であった者がこれを清算する。

(準用)

~~第 2-7 条~~ **第 2 6 条** この規約に定めるもののほか、協議会の事務処理及び会計規則に関し必要な事項は、会長が属する市町村の条例、規則等の例による。

(その他)

~~第 2-8 条~~ **第 2 7 条** この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

附 則

この規約は、設立総会の日（平成 2 9 年 4 月 2 6 日）から施行する。

附 則

この規約は、公布の日（令和 3 年 5 月 1 4 日）から施行する。

附 則

この規約は、公布の日（令和 4 年 5 月 1 3 日）から施行する。

附 則

この規約は、公布の日（令和 5 年 1 0 月 1 3 日）から施行する。

附 則

この規約は、公布の日（令和 7 年 1 2 月 1 0 日）から施行する。

附 則

この規約は、公布の日（令和 8 年 6 月 2 5 日）から施行する。

別表（第 4 条関係）

委 員
愛媛県西条市
愛媛県上浮穴郡久万高原町
高知県吾川郡いの町
高知県土佐郡大川村
国立大学法人愛媛大学社会共創学部
国立大学法人高知大学次世代地域創造センター
一般社団法人西条市観光物産協会
一般社団法人久万高原町観光協会
一般社団法人いの町観光協会
西条商工会議所
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会
一般社団法人大川村ふるさとむら公社
株式会社石鎚観光
石鎚登山ロープウェイ株式会社
四国開発フェリー株式会社
特定非営利活動法人西条自然学校
特定非営利活動法人石鎚森の学校
面河溪を愛する会
山荘しらさ
西条市サイクリング大会実行委員会
高知県サイクリング協会
株式会社ソラヤマいしづち

議案第 5 号 「石鎚山系入山協力金導入検討会」の設立について

1 要旨

平成 29 年度に設立した本協議会では、石鎚山系をまたぐ 4 市町村（愛媛県西条市、久万高原町、高知県いの町、大川村）が行政の枠を越えて連携し、これまでに石鎚山系における利用促進、安全対策、自然保全等、様々な協議及び事業を実施してきたところ。

一方で自治体財源に依存した事業や地域の守り手の高齢化、登山道整備体制の不明瞭さなど課題が山積しており、現状の課題を解決しなければ、未来の市民等が「石鎚山に登れなくなる」おそれがある。

そこで、受益者負担の考えの下、全国で事例が進んでいる「入山協力金制度」の導入を石鎚山系でも検討するため、本協議会にて「石鎚山系入山協力金導入検討会」を設立し、今後の石鎚山系の在り方（ビジョン）を検討するとともに、必要な資金を徴収するための制度を検討・整備することで、石鎚山系の魅力や自然を持続可能的に守る仕組みづくりを推進してまいりたい。

2 体制図

別紙のとおり

※本検討会は協議会の内部組織となるが、既存委員・オブザーバー外の招聘もあることから、別途委嘱を行うこととする。

3 検討会の事務要領及びスケジュール

本検討会にて「石鎚山系と地域とのこれからの関わり方（ビジョン）」、「ビジョンを実現するための協力金徴収に係る計画」を検討し、令和 10 年度秋からの徴収制度開始を目指す。

- ①令和 8 年度…検討会設立、ビジョン策定
- ②令和 9 年度…計画策定、協力金徴収に係る実証実験
- ③令和 10 年度…協力金体制の整備、制度開始

※本スケジュールは計画であり、地域、国、県等関係者と別途連携しながら調整する

4 令和 8 年度事業及び事業費

令和 8 年度は全 5 回の検討会を開催し、上記ビジョンを策定する。

- ①検討会の開催（謝礼、旅費、会場費など）…1,000,000 円
※本検討会に係る謝礼額は協議会と同額。また、行政職員は無償とする。
- ②ビジョン策定委託料（策定筆耕、事務費等）…400,000 円
- ③先進地視察、法律相談など（旅費、謝礼）…200,000 円

5 検討会委員

別紙のとおり

※石鎚山系では「利用者」「守り手」「管理者」等様々な立場から多くの団体が関わっているため、「コアメンバー」「オブザーバー」に分かれて適宜出席を依頼するものとする

6 添付資料

- ①概要書
- ②組織体制図（案）
- ③石鎚山系入山協力金導入検討会設置要綱
- ④石鎚山系入山協力金検討会 検討委員名簿（案）

美しい石鎚山系を次代へつなぎ、持続可能な登山環境の実現に向けて、 『入山協力金制度（案）』の検討に着手します

資料10-2

1 要 旨

- 西日本最高峰の「石鎚山」をはじめ、東西約50kmに広がる石鎚山系は、**自然・希少生物・登山環境**など魅力に溢れており、**地域住民の誇り**として親しまれています。
- 石鎚山系では、**登山道やトイレ等の維持管理**をはじめ、自然保護にかかる諸費用、守り手の後進育成など多くの維持費が必要で、**行政に依存しない財源確保**が喫緊の課題です。
- そこで全国で事例が進んでいる**「入山協力金制度」**を石鎚山系でも導入するため、『石鎚山系連携事業協議会』において検討に着手することとなりました。



色鮮やかな紅葉に染まる石鎚山



登山道整備やシカ食害対策等を実施

<石鎚山系の課題>

- ・登山道整備等にかかる財源の確保
- ・守り手の高齢化（後進育成）
- ・トイレ、山小屋等の老朽化（維持管理費の高騰）
- ・道標や注意看板などが不十分

2 入山協力金制度 とは

登山道や山岳トイレなどの利用に際し、受益者負担とする考えの下、登山口やビジターセンター等で一定額の協力金（寄附扱い）を求めるもの。

（「入域料」「入山料」「協力金」などと呼称されます）

自然公園等の維持管理費用を安定的に確保し、自然環境の保全と適正な利用を持続的に推進するとともに、利用者が負担の意義や用途を知ることを通じて、自然環境保全に対する意識を高めていただくことができます。

<全国での主な導入エリア> ※以下エリアは一部です

- ・大雪山国立公園（北海道）
- ・妙高戸隠連山国立公園（新潟県等）
- ・北アルプス南部、槍・穂高連峰（長野県等）
- ・伊吹山（滋賀県等）
- ・大山隠岐国立公園（鳥取県等）
- ・阿蘇くじゅう国立公園（大分県）
- ・屋久島（鹿児島県）



伊吹山入山協力金の様子

3 『石鎚山系連携事業協議会』とは

石鎚山系をまたぐ4つの市町村（愛媛県西条市、久万高原町、高知県いの町、大川村）では自治体の枠を超えて協議会を設立。学識経験者、観光及び山岳関係団体等と連携し、多様な施策に取り組んでいます。



4 今後のスケジュール（予定）

- ◎令和8年度 …協議会総会にて検討会を設立
- ◎令和8～9年度…今後の石鎚山系を守るための『ビジョン』『計画』を策定
- ◎令和10年度 …協力金収納に係る設備及び体制を整備し、令和10年秋頃から徴収開始

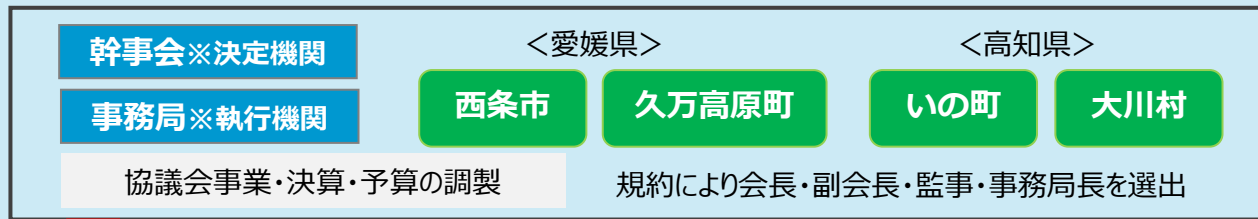
＜協議会の事業目的＞

石鎚山系の限られた資源の中において、より効率的な事業実施や利用者の満足度向上のため、エリア内の4市町村が**行政の枠を超え**、多面的かつ実効的な取り組みを実施することで、豊富な生態系を有する石鎚山系を**持続可能な資源として振興**する。

＜検討会の事業目的＞

豊富な自然や魅力ある登山道を有する石鎚山系では、**守り手の高齢化**や**自治体に依存した財源負担**など、持続可能な環境維持に課題を抱えている。今後将来にわたり自然や登山道を守り、**次代へつなぐ仕組みづくり**が喫緊の課題であることから、**受益者負担による入山協力金の導入**に向けてステークホルダーと共に検討を行う。

組織体制



コアメンバー・オブザーバー

委員・オブザーバー

行政・大学機関・観光事業者・交通事業者
・山岳関係者など幅広く選出

検討会※議決権なし

協議会※諮問・議決機関

協議会事業・決算・予算の議決

【一般会計】

新設

石鎚山系入山協力金
導入検討会

導入目的、徴収方法、活用方法等を検討

検討会の開催によって、石鎚山系を守る仕組みづくりを検討

検討委員（コアメンバー）はすべての検討会に、検討オブザーバーは議題に応じて出席

持続可能な維持管理体制の構築により、石鎚山系の魅力を次代へつなげる

企画情報分科会

新たな魅力創出、情報発信体制の構築。

各種事業を連携して実施

デジタルプラットフォーム推進分科会

いしづちエリアの「ヒト」を軸に観光マッチングサービス事業を展開。

デジタルプラットフォーム「旅はひとまかせ」を運営

サイクリング分科会

サイクリング受入態勢の整備。サイクリングによる誘客。

環境安全対策・登山分科会

登山者の満足度向上、安全対策。自然環境の保全。

環境保全・安全対策等による利用者の満足度向上
登山者等増加、地域経済の好循環創出

事業者の経済支援、関係人口の増加、移住見込者の増進

石鎚山系入山協力金導入検討会設置要綱

(趣旨)

第1条 この規程は、石鎚山系連携事業協議会規約（以下「規約」という。）第27条の規定に基づき、石鎚山系連携事業協議会（以下「協議会」という。）の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 石鎚山系の自然や登山道を守り、次世代へつなぐ仕組みづくりを創出することを目的として、石鎚山系と地域住民等の将来を見据えた「石鎚山系地域資産持続化ビジョン」（以下「ビジョン」という。）及びビジョンを実現するための原資として、入山協力金制度を導入するための計画（以下「石鎚山系地域資産持続化計画」という。）を策定し、及び改定するため、石鎚山系入山協力金導入検討会（以下「検討会」という。）を置く。

(組織の位置づけ)

第3条 本検討会は、協議会の下部組織として位置づけ、協議会事業と連動しながら実施する。

(所掌事務)

第4条 検討会の所掌事務は、次に掲げるものとする。

- (1) 石鎚山系持続可能ビジョンの策定及び改定に関すること。
- (2) 石鎚山系入山協力金計画の策定及び改定に関すること。
- (3) 前号に掲げるもののほか、西条市森林ビジョンの策定及び改定に関し必要な事項に関すること。

(組織)

第5条 検討会は、委員21人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者の中から協議会の会長（以下「会長」という。）が委嘱する。

- (1) 地域事業者
- (2) 自然保護又は登山道整備に関わる者
- (3) 観光事業者
- (4) 学識経験者
- (5) 土地所有者
- (6) 国定公園を所有又は管理する者
- (7) その他会長が適当と認める者

3 委員は、前項各号による代表者となるコアメンバーと、前号各号に属するオブザーバーにわかれる。

4 コアメンバーは原則すべての会議に出席し、オブザーバーは一部の会議に任意出席する。

(任期)

第6条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員に欠員が生じたときは、委員を補充することができる。この場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第7条 検討会に委員長及び副委員長を置き、協議会の議決により定める。

2 委員長は、検討会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、

その職務を代理する。

(協議事項)

第 8 条 本委員会は、第 2 条の目的を達成するため、社会実験等の実施や結果の分析及びそれらを踏まえた今後の取組その他必要な事項について協議する。

(会議)

第 9 条 検討会の会議は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。ただし、電子会議による参加は出席とみなす。

3 委員長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、その意見若しくは説明を聴取し、又は資料の提供を求めることができる。

4 本委員会は、令和 8 年度に 5 回程度、令和 9 年度に 3 回程度開催する。

(成果物)

第 10 条 検討会で策定したビジョン及び計画は、協議会又は協議会が属する市町村のものとする。

(庶務)

第 11 条 検討会の庶務は、協議会事務局において処理する。

(その他)

第 12 条 この要綱に定めるもののほか、検討会の運営に関し必要な事項は、協議会事務局が決定する。

附 則

(施行期日)

この要綱は、令和 8 年 6 月 25 日から施行する。

石鎚山系入山協力金導入検討会 検討委員名簿(案)

NO	団体名	肩書	氏名	備考	参加予定(第○回)								
					ビジョン(R8)					計画(R9)			
					1	2	3	4	5	6	7	8	
【コアメンバー】※原則すべての会議に出席					○…出席、△…任意出席								
1	愛媛大学社会共創学部	教授	井口 梓	委員長(ファシリテーター)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	NPO法人西条自然学校	理事長	山本 貴仁	副委員長(ビジョン実務)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	石鎚登山ロープウェイ株式会社	代表取締役	伊藤 和豊	地域事業者代表	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	NPO法人山のボランティアNetwork	事務局長	渡辺 二孝	登山道整備団体代表	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	面河山岳博物館	学芸員	矢野 真志	生物多様性団体代表	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	(一社)いの町観光協会	事務局長	和田 耕明	観光事業者代表	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	宗教法人石鎚神社	権宮司	十亀 博行	成就登山道土地所有者	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【オブザーバー】※検討議題に応じて、任意出席を求める													
8	NPO法人山のボランティアNetwork	副代表	菅野 哲	登山道整備、自然保護		△		△	△	△	△	△	△
9	面河溪を愛する会	会長	白石 崇	登山道整備、自然保護		△		△	△				
10	愛媛大学山岳会		鳥居 秀章	登山道整備、自然保護		△		△	△				
11	瓶ヶ森を守る会		小野 信裕	登山道整備、自然保護		△		△	△				
12	NPO法人石鎚森の学校	理事・事務局長	十亀 雅史	自然保護、エコツアー、ガイド			△	△	△				
13	四国山岳ガイド協会	事務局長	佐藤 孝雄	登山道・ガイド			△	△	△				
14	(一社)西条市観光物産協会	事務局長	玉井 雅人	観光事業者			△	△	△				
15	(一社)久万高原町観光協会	代表理事	竹森 洋輔	観光事業者			△	△	△				
16	(一社)大川村ふるさとむら公社	シニアインフルエンサー	近藤 京子	観光事業者			△	△	△				
17	株式会社ソラヤマいしづち	代表取締役	中野 太一	観光事業者			△	△	△				
18	株式会社石鎚観光	代表取締役	白石 文高	地域事業者			△	△	△	△	△	△	△
19	愛媛県民環境部環境局自然保護課	主幹	入山 修	国立公園	△	△	△	△	△	△	△	△	△
20	高知県林業振興・環境部自然共生課	チーフ	久松 亮太	国立公園	△	△	△	△	△	△	△	△	△
21	林野庁四国森林管理局計画保全部保全課	課長	立居場 一徳	国有林	△	△	△	△	△	△	△	△	△
【事務局】													
22	愛媛県西条市企画部観光振興課				○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	愛媛県上浮穴郡久万高原町まちづくり戦略課				○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	高知県吾川郡いの町本川総合支所産業建設課				○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	高知県土佐郡大川村むらづくり戦略課				○	○	○	○	○	○	○	○	○

【参考】検討会テーマ <令和8年度…第1回～第5回(ビジョン策定)> <令和9年度…第6回～第8回(計画策定)>

(第1回) ビジョン(骨子)の説明、項目の整理
(第2回) ビジョン(素案)について意見収集(登山道・自然保護等について)※参加困難なオブザーバーには事前アンケートを実施
(第3回) ビジョン(素案)について意見収集(登山道・地域観光について)※参加困難なオブザーバーには事前アンケートを実施
(第4回) ビジョン(素案)の集約、オブザーバーも含めディスカッション
(第5回) ビジョン(素案)の最終調整
(第6回) ビジョンを基とした計画(骨子)について意見収集(徴収方法、箇所、額、減免等)
(第7回) 計画(骨子)の集約、パブコメや実証実験の内容確認
(第8回) パブコメ、実証実験結果を基に、計画の策定

石鎚山系連携事業協議会
令和8年度 一般会計収支予算書（案）

1 収入の部

（単位：円）

区 分	7年度 予算額（A）	8年度 予算額（B）	比較増減 （B-A）	備 考								
1 負担金	4,560,000	3,356,000	△ 1,204,000	（固定負担250,000円＋割合負担） ※本来負担金から基金繰入額を差引き								
市町村負担金	4,560,000	3,356,000	△ 1,204,000	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">西条市</td> <td style="text-align: right;">1,551,296</td> </tr> <tr> <td>久万高原町</td> <td style="text-align: right;">716,032</td> </tr> <tr> <td>いの町</td> <td style="text-align: right;">765,088</td> </tr> <tr> <td>大川村</td> <td style="text-align: right;">323,584</td> </tr> </table>	西条市	1,551,296	久万高原町	716,032	いの町	765,088	大川村	323,584
西条市	1,551,296											
久万高原町	716,032											
いの町	765,088											
大川村	323,584											
2 基金繰入	0	484,000	484,000	令和7年度基金から繰入 484,000								
3 雑収入	3,000	3,000	0	利子等 3,000								
4 繰越金	2,385,855	2,602,542	216,687	令和7年度出納閉鎖後の残額 2,602,542								
5 寄附収入	0	400,000	400,000	令和8年度GCF寄附金（西条市） 400,000								
計	6,948,855	6,845,542	△ 103,313									

2 支出の部

（単位：円）

区 分	7年度 予算額（A）	8年度 予算額（B）	比較増減 （B-A）	備 考	GCF 充当								
1 運営費	380,000	380,000	0										
①協議会・分科会運営費	330,000	330,000	0	報償費、旅費、食糧費等 330,000									
②事務費	50,000	50,000	0	振込手数料 50,000									
2 事業費	6,210,000	4,962,000	△ 1,248,000										
①情報発信・プロモーション関係	2,210,000	1,270,000	△ 940,000	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">公式WEBサイト保守・運営</td> <td style="text-align: right;">500,000</td> </tr> <tr> <td>愛媛県観光DPMデータ分析活用</td> <td style="text-align: right;">100,000</td> </tr> <tr> <td>ジャパンエコトラック石鎚年間運営</td> <td style="text-align: right;">220,000</td> </tr> <tr> <td>フォトコンテスト企画展示</td> <td style="text-align: right;">450,000</td> </tr> </table>	公式WEBサイト保守・運営	500,000	愛媛県観光DPMデータ分析活用	100,000	ジャパンエコトラック石鎚年間運営	220,000	フォトコンテスト企画展示	450,000	
公式WEBサイト保守・運営	500,000												
愛媛県観光DPMデータ分析活用	100,000												
ジャパンエコトラック石鎚年間運営	220,000												
フォトコンテスト企画展示	450,000												
②石鎚国定公園指定70周年記念事業	1,800,000	0	△ 1,800,000	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">デジタルスタンプラリー</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>石鎚山系フォトコンテスト</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> </table>	デジタルスタンプラリー	0	石鎚山系フォトコンテスト	0					
デジタルスタンプラリー	0												
石鎚山系フォトコンテスト	0												
③サイクリング関係	500,000	1,292,000	792,000	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">天空ライト配布</td> <td style="text-align: right;">10,000</td> </tr> <tr> <td>プロモーション動画制作費</td> <td style="text-align: right;">1,000,000</td> </tr> <tr> <td>SNS情報発信</td> <td style="text-align: right;">132,000</td> </tr> <tr> <td>域内サイクリングイベント企画実践研修</td> <td style="text-align: right;">150,000</td> </tr> </table>	天空ライト配布	10,000	プロモーション動画制作費	1,000,000	SNS情報発信	132,000	域内サイクリングイベント企画実践研修	150,000	
天空ライト配布	10,000												
プロモーション動画制作費	1,000,000												
SNS情報発信	132,000												
域内サイクリングイベント企画実践研修	150,000												
④環境安全対策・登山関係	500,000	500,000	0	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">事故、環境被害情報収集・提言</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>登山道整備等</td> <td style="text-align: right;">380,000</td> </tr> <tr> <td>登山道パトロール</td> <td style="text-align: right;">110,000</td> </tr> <tr> <td>日本ロングトレイル協会年会費</td> <td style="text-align: right;">10,000</td> </tr> </table>	事故、環境被害情報収集・提言	0	登山道整備等	380,000	登山道パトロール	110,000	日本ロングトレイル協会年会費	10,000	○
事故、環境被害情報収集・提言	0												
登山道整備等	380,000												
登山道パトロール	110,000												
日本ロングトレイル協会年会費	10,000												
⑤DPF関係	（特別会計）	200,000	200,000	プロモーション、謝礼、旅費等 200,000									
⑥PRパンフレット事業	1,200,000	100,000	△ 1,100,000	安全登山マップ校正（データのみ） 100,000	○								
⑦検討会事業	0	1,600,000	1,600,000	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">謝礼、会場費、計画策定</td> <td style="text-align: right;">1,000,000</td> </tr> <tr> <td>ビジョン策定委託</td> <td style="text-align: right;">400,000</td> </tr> <tr> <td>視察、法律相談等（旅費、謝礼）</td> <td style="text-align: right;">200,000</td> </tr> </table>	謝礼、会場費、計画策定	1,000,000	ビジョン策定委託	400,000	視察、法律相談等（旅費、謝礼）	200,000			
謝礼、会場費、計画策定	1,000,000												
ビジョン策定委託	400,000												
視察、法律相談等（旅費、謝礼）	200,000												
小計（1+2）	6,590,000	5,342,000	△ 1,248,000										
3 基金	0	400,000	400,000	基金収納後、翌年度へ繰越し（GCF充当分）									
4 予備費	358,855	1,103,542	744,687										
計	6,948,855	6,845,542	△ 103,313										